

## 活動報告

# 家族介護に関するアンケート調査報告 第4報

会員ライフサポート部 清川 恵子、寺尾 詩子、萩原 文子

会員ライフサポート部 活動報告 第35報

とうとう、この報告も最後となります。今回は、5月25日～27日に神戸にて開催されました「第47回日本理学療法士学会」でのポスター発表の様子を中心に、まとめとしてご報告させていただきます

### ◆学会の様子

当部の発表は、2日目の26日にありました。



### ◇発表後の取り組みについて

発表では、このアンケート結果を受けて、今後の活動はどうするのかという質問を多くいただきました。今回のアンケート回収率は非常に低く、また、休会中の方は調査の対象となっていなかったことから、仕事との両立が大変と考えているような方からの声は拾い切れていないのではないかと考えています。そこで、次の調査として、休会者の方の状況を簡単にでも把握できればと調査を開始しています。また、介護は、出産育児よりもはるかに「介護」自体の内容や考え方が多様であるということも改めて実感しました。いろんな考え方や現実があると思いますので、いろんな人の体験記を皆さんで共有できるように、このニュースを利用して、発信していきたいと思います。ちなみに、発表したポスターはホームページにもアップしていますので、是非覗いてみてください。

### ◇会員ライフサポート部の活動への反響

学会では、本会会員のみでなく、他士会で活躍されている方々との交流ができました。回復期リハ病院の女性スタッフへのアンケート報告をされていた若い女性PTさんや、他県士会での組織力強化に燃える理事の方、女性PTの会の頼もしい面々など、自分たちの活動地域内、職場内での相互支援の考えが少しずつでも広がってきていることを感じました。私たちの活動に耳を傾けていただき、皆さまの活動を教えていた

だくことで、人の輪・会の輪がつながり、大きな力となっていくことを望んでいます。

### ◇発表者のつぶやき

私たちが発表した同じセッションで、「仕事によるバーンアウトが対人態度にどう関係しているのか」という発表と「職務満足感に影響する要因の検討」が発表されていました。それらの発表は、自分や他の皆さんの仕事、県士会活動の参加の原動力について考えるきっかけになりました。県士会活動は、ボランティアで面倒なことばかりにも思えますが、役員を引き受けている人達はほんとうにいい人ばかりで、意欲的です。何だか不思議に思えてきました。自分のことを振り返り、仕事はバーンアウト寸前の忙しさ、県士会の仕事は先輩から言われ断れず参加することになっただけ。それでも、だいぶ後になってから、自分が少しでも役に立っている気がしてくると仕事も県士会の活動も楽しく頑張れるようになりました。職務満足度の調査発表でも、経済的な見返りではなく、仕事内容に充実感があるかどうかの方が満足度に反映していたとのこと。やりがいこそが大事なのだと改めて感じました。

一方で、第一線で活躍したくても、家庭の事情、病気、けがなどで、思うようにいなくなる時は誰にでもあるということも痛感しています。この会員ライフサポート部で活躍していただいている部員のみならず、結婚、育児、親の介護、自分の病気で、活動を休まざるを得ないという状況に次々と直面しています。しかし、発表で一緒だった、福島県士会理事であり、4児のパパPTでもある本田先生が、途中4年間は完全に県士会の活動をやめていたことがあったという話を聞いて、先生の熱い気持ちに触れ、そんな時期があっても、また活動はそのうち再開できる時が来るのだ！ということ強く感じました。

会員ライフサポート部の活動はまさに、いろんな状況におちいっても、また自分らしく前向きに進むことを少しでもサポートするということだと再認識した1日となりました。



福島県士会理事の本田さんと（左）





### ◆最後に ～アンケートをまとめてみて～

私たち理学療法士は、患者さんの生活のために日々惜しまず労力を注ぐ職業です。しかし、自らの家族の介護については関心の低いことが今回のアンケート結果でわかりました。「まだ先の話だろう」という他人事のような認識なのか、「自分なら何とかなるだろう」という理学療法士としての自負なのか。とにかく危機感を感じられないことも多くありました。

しかしながら、実際直面している人、目前の人、一段落した人も僅かながら、かつ確実に存在していること、女性

に限らず男性にもいることがわかりました。そして、言われてみて感じる将来の不安、直面してきて感じる不便さや理学療法士だからこそ感じる負担などを垣間見ることができました。

皆さんはこれまでの報告から何を感じて頂けましたでしょうか。

当部ではこの結果をもとに、これからも会員の皆さんがさまざまなライフワークの中で理学療法士として就業継続しやすい環境づくりの支援となるよう、更なる活動を続けていきたいと思えます。

## ● 会員ライフサポート部部員募集 ●

一緒に活動して下さる方大募集。年数回、神奈川県理学療法士会事務所で集まって活動しています。また、会議には参加できないけれど、ご意見、ご要望がある、メールを通して活動に参加したいという方（メールサポートメンバー）も随時募集しています。lifesupport@pt-kanagawa.or.jpまでメールください。

## ◎ 研修会予定

### ◆復職支援実務研修（平成24年度中）：離職中の方を対象に5日間の実務研修を行っています。

【研修施設】	Aコース	急性期	聖マリアンナ医科大学病院
	Bコース	回復期	南大和病院
	Cコース	生活期	足柄リハビリテーションサービス
			介護老人保健施設 つくしの里
			介護老人保健施設 アゼリア

※研修施設は追加される可能性がありますので、県士会ホームページでご確認ください。

【期 日】 平成24年7月1日～平成25年2月28日の1日5時間×5日間

【受講費】 5,000円

【募集定員】 各施設2名

【応募締め切り】 平成24年12月25日

### ◇託児室付研修会「今さら聞けないシリーズ 脳画像のみかた②」&交流会

【日 時】 平成24年10月28日（日） 13:30～16:00

【場 所】 ウィリング横浜 12階

【受講費】 無料

【定 員】 50名

【応募締め切り】 平成24年10月21日

【託児室委託】 タスクフォース

【託児室利用費】 無料

【託児定員】 10名（0歳～就学前）

いずれも、参加者募集中です。詳細はホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。